

岩手県企業短期経済観測調査結果（2015年9月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の67社 ※
- 回答率100%（回答数67社、うち製造業27社、非製造業40社）
- 回答期間 8月26日～9月30日

※ 調査対象企業の定例見直しに伴い、15年3月調査より対象企業が追加されている。このため、計表に記載している14年12月調査結果は、新ベースの集計結果を掲載している。ただし、DIにかかる長期時系列グラフ（4ページ参考2の各グラフ）は旧ベースの集計結果を掲載している。

1. 業況判断指数 (DI)

業況判断指数（全産業）の「良い」超幅は、前回調査（6月）対比で僅かな悪化を示したが、「良い」超幅自体は引き続き高水準を維持している（前回15→今回14；2011年12月調査以来16期連続での「良い」超）。

業種別にみると、製造業では、加工業種で製商品需給の悪化などを背景に判断を下方修正する先が散見されたため、全体では「悪い」超に転じた（前回0→今回▲3；2013年3月調査<▲15>以来の「悪い」超）。

非製造業では、災害復旧復興需要が寄与する形で建設業の業況感が好転したことを主因に、前回並みの「良い」超幅となった（前回25→今回25）。

先行きについては、製造業では、素材業種で受注などに対する慎重な見方を示す先が増加していることから、「悪い」超幅が拡大（今回▲3→先行き予測▲11）。

非製造業では、災害復旧復興需要の減少などを懸念する先がみられることから、「良い」超幅が縮小（今回25→先行き予測15）。

この結果、全産業ベースの先行きDIは、「良い」超幅が縮小。

この間、各種判断DI（参考1）をみると、「雇用人員判断DI」では「不足」超が続いている。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	14/6月	9月	12月	15/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	20	16	22	15	0	▲3(0)	▲11
素材業種	15	29	0	▲11	0	0(11)	▲33
加工業種	22	11	33	27	0	▲5(▲6)	0
非製造業	21	20	28	15	25	25(28)	15
建設	36	50	50	43	36	43(29)	29
全産業	20	18	26	15	15	14(16)	5

2. 売上高・経常利益（2015年度見通し）

2015年度売上高は、製造業では電気機械で下方修正されたものの、非製造業では震災復旧復興需要等を背景に建設、卸売などで上方修正されたことから、全産業ベースで前年比プラス見通し。

2015年度経常利益は、製造業で、製造コストに対する慎重な見方などから減益を見込む先が多い一方、非製造業で、建設投資や駆け込み需要の反動減からの回復に支えられて、下期を中心に収益拡大を見込む先が多くみられる。

—— 前年同期比・%、() 内は前回調査比修正率・%

	2014年度(実績)		2015年度(見通し)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	▲ 1.4	▲18.7	2.0 (▲ 2.7)	1.6 (1.0)	2.5 (▲ 6.1)	▲51.4 (▲40.3)	▲52.1 (▲15.0)	▲50.2 (▲60.1)
非製造業	1.2	▲11.4	2.1 (3.0)	1.1 (4.7)	3.0 (1.4)	7.9 (6.9)	▲32.9 (30.6)	53.3 (▲ 1.8)
全産業	0.3	▲14.6	2.1 (1.0)	1.2 (3.4)	2.9 (▲ 1.2)	▲15.7 (▲ 9.5)	▲41.4 (9.3)	18.2 (▲18.7)

3. 設備投資額（2015年度計画）

2015年度設備投資は、多くの業種で積極的な投資姿勢を示す向きがみられることから、全産業ベースで前年を上回る計画となっている。

—— 業種別では、製造業がその他製造業、郵送用機械、非製造業が対個人サービス、卸売などを中心に前年を上回る計画となっている。

—— 前回調査対比では、製造業がその他製造業、電気機械、非製造業が対個人サービスで、それぞれ上方修正となった。

(ソフトウェア投資を除くベース)

—— 同上

	2013年度(実績)	2014年度(実績)	2015年度(計画)		
			年度	上期	下期
製造業	▲31.5	▲ 1.0	38.9 (6.0)	21.9 (▲ 6.7)	58.1 (20.3)
非製造業	▲ 6.9	4.7	2.9 (4.9)	9.8 (4.4)	▲ 1.8 (5.3)
全産業	▲23.3	1.5	22.4 (5.6)	17.2 (▲ 2.9)	27.0 (13.8)

(参考1) 各種判断 DI の推移

—— 回答社数の構成比・%ポイント、() 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 DI (全産業ベース)

		14/6月	9月	12月	15/3月	6月	9月	12月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」—「供給超過」	0	▲ 3	▲ 3	▲10	▲17	▲13(▲16)	▲12
製商品在庫	「過大」—「不足」	6	▲ 2	▲ 2	8	8	6(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	37	27	31	35	25	15(26)	18
販売価格		12	▲ 6	▲ 6	▲ 1	▲ 3	▲ 6(▲ 3)	▲ 6

(2) 生産・営業用設備判断 DI(「過剰」—「不足」)

	14/6月	9月	12月	15/3月	6月	9月	12月 (予測)
製 造 業	4	▲ 4	▲18	▲ 7	▲ 8	0(0)	4
非 製 造 業	▲ 5	5	▲ 5	▲ 3	▲ 2	▲ 3(▲ 8)	▲ 3
全 産 業	▲ 1	1	▲11	▲ 4	▲ 5	▲ 2(▲ 4)	0

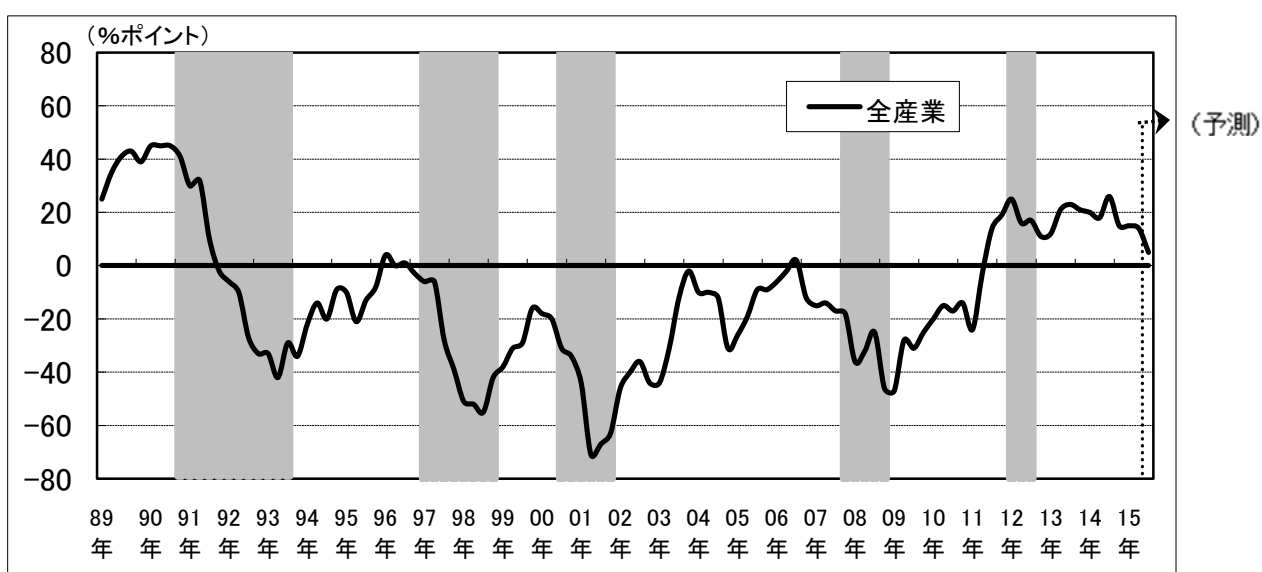
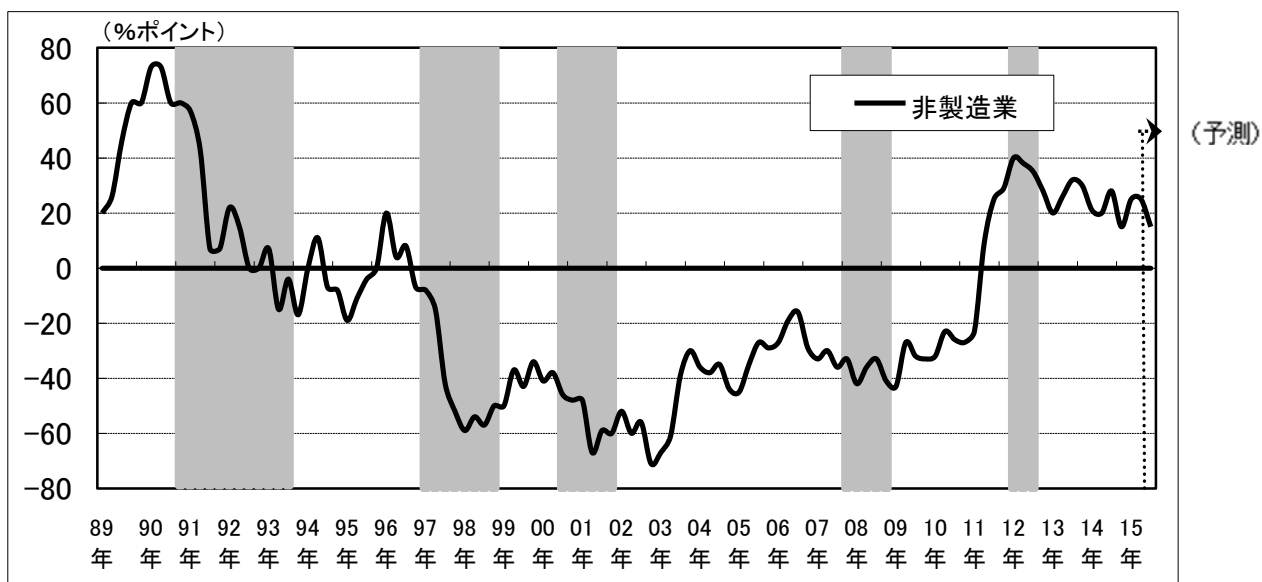
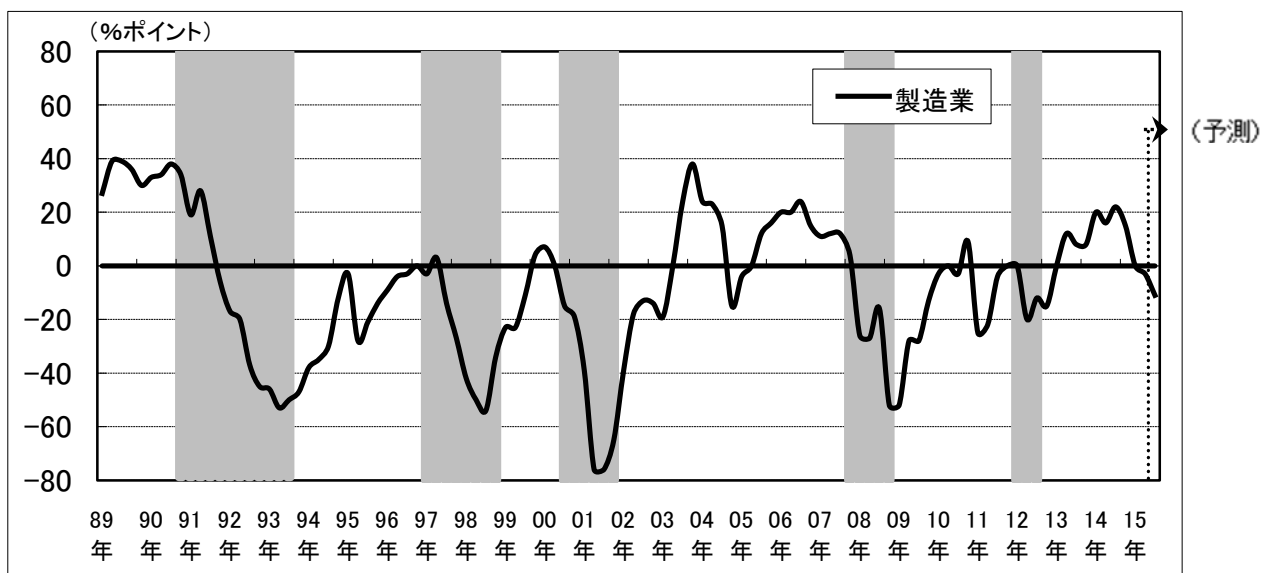
(3) 雇用人員判断 DI (「過剰」—「不足」)

	14/6月	9月	12月	15/3月	6月	9月	12月 (予測)
製 造 業	▲16	▲24	▲37	▲19	▲19	▲12(▲15)	▲11
非 製 造 業	▲20	▲15	▲30	▲32	▲27	▲32(▲20)	▲30
全 産 業	▲19	▲18	▲33	▲27	▲24	▲24(▲18)	▲22

(4) 企業金融関連判断 DI (全産業ベース)

		14/6月	9月	12月	15/3月	6月	9月	12月 (予測)
資金繰り	「楽である」—「苦しい」	14	3	6	10	12	15(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	7	10	18	21	18	20(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	▲ 5	▲13	▲14	▲12	▲ 6	▲ 6(2)	2

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		14/6月	9月	12月	15/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	全国	6	4	7	5	4	5 (5)	2
	東北	8	6	7	1	▲ 2	▲ 1 (3)	0
	岩手	20	16	22	15	0	▲ 3 (0)	▲11
非製造業	全国	8	5	6	9	10	10 (8)	7
	東北	10	10	10	11	14	15 (10)	8
	岩手	21	20	28	15	25	25 (28)	15
全産業	全国	7	4	6	7	7	8 (7)	5
	東北	9	8	8	7	8	9 (7)	5
	岩手	20	18	26	15	15	14 (16)	5

(参考4) 東北各県の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		14/6月	9月	12月	15/3月	6月	9月	12月 (予測)
全産業	岩手	20	18	26	15	15	14 (16)	5
	青森	11	5	1	0	1	8 (0)	4
	宮城	4	3	11	5	▲ 1	8 (2)	2
	秋田	▲ 1	▲ 4	▲ 6	▲ 7	0	0 (2)	1
	山形	11	7	5	5	7	0 (6)	0
	福島	10	12	14	16	16	15 (13)	8

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所

TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>